

## 令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	1	学校名	下田（全）	記載者	石代 晃司
------	---	-----	-------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	すべてに優先する安心安全な学校づくり	生徒データ等を含む情報データにおいて、情報漏洩等のトラブル防止に加えて、利便性の高い情報システムの構築を行う。 （情報データ漏洩等トラブル、ゼロ） （教務課）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報漏洩防止と利便性の両立に向けた取り組みは重要であり、フォルダ整理など組織的な情報管理体制の整備を期待する。</li> <li>・情報システムの利便性の向上とトラブル防止を望む。</li> <li>・ID、パスワードの管理を引き続きしっかりとて欲しい。</li> </ul>
		安全に関する教育（ネットワーク犯罪、薬物、盗難等）の徹底・薬物講座、防犯教室を年1回実施。学校生活アンケートを各学期1回実施。 （生徒課）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に関する教育の取り組みは適切であり、継続的な啓発と日常的な声掛けの徹底を今後も期待する。</li> <li>・ロッカーなどの個人の管理は生活指導として大切だと思う。「施錠の確認は生徒で！」が大切。</li> <li>・近年、問題となっているネットワーク犯罪防止の啓発活動の必要性を感じる。</li> <li>・SNSの危険性を徹底して欲しい。</li> </ul>
		学期ごとの環境整備活動の円滑な実施と、生徒の心身強化のサポートを相談室の活動等を通じて行い、安心して学校生活を送れる環境づくりを行う。 （保健課）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して学校生活を送れる環境づくりが進められていると感じる。環境の整備や避難経路の安全確認が行われている点も評価できる。今後も継続した取り組みを望む。</li> <li>・集団での清掃・換気は大切だが、気候により難しいと感じた</li> <li>・職員間での情報共有が行われている環境づくりを期待する。</li> <li>・世の中、心の病に悩む人が多い。家庭環境による影響も多々あると思われる。</li> </ul>
		防災意識を高める講座の計画と実施。実際の災害を想定した防災訓練の計画と実施。地域防災訓練参加率70%を目標とする。 また、1年生、2年生はふじのくにジュニア防災士知識行動コースを取得する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域訓練が簡素化する中、生徒の参加率が高く、防災意識の向上が図られていると感じる。南海トラフ巨大地震に備え、今後も防災知識のさらなる充実に取り組まれることを期待する。</li> <li>・その時どうするかが大切である。</li> </ul>

様式第5号

		(総務課)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域訓練への参加率の向上を望む。</li> <li>・大災害に伴い被災地に派遣された市町防災担当者を招いての防災講座の開催などを提案する。</li> </ul>
イ	グローバルで活躍できる人材の育成	<p>【3年間を見通したキャリア教育の実践】</p> <p>進路シラバス、進路ストーリーを提示し、生徒が3年間を見通した進路学習に取り組めるよう支援をする。</p> <p>(進路課)</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習への支援が行われている点は理解すべきである。今後は、提示資料の活用方法など保護者にもより分かりやすく伝えることで、一層活用の促進につながると考える。</li> <li>・全生徒に同じように指導することは難しいと思う。</li> <li>・生徒が3年間を見通せる進路指導に期待する。</li> </ul>
		<p>理数科生徒の各種研修や実験教室による、グローバルで活躍するための進路明確化支援。生徒の満足度5段階評価で平均4.0以上。</p> <p>(理数科)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校方針に同感。グローバルに活躍できる人材育成に向け、興味関心を高める取り組みの継続を期待する。</li> <li>・いろいろな研修がある中、素晴らしい活動をしていると感じた。</li> <li>・各種の研修が積極的に実施されていることを評価する。</li> </ul>
		<p>生徒が海外で研修する機会を3件以上提供する。年度末の、NY研修に向けて10回以上の事前研修を行う。</p> <p>(国際交流委員会)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外研修の機会提供は、生徒の視野を広げる大変有意義なことと考える。今後も継続と充実を期待する。</li> <li>・様々な事業を提供し、生徒にグローバルな視点を持たせて欲しい。</li> <li>・海外研修を通じて世界における日本の立ち位置をもっと理解できるようになって欲しい。</li> </ul>
		<p>主体的な学びに有効なICT機器の整備と、研修等を通してそれを多くの教員が有効に活用できる。(年度に1回はICT活用のための研修を実施。)</p> <p>(教務課)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用の推進に向けた取り組みは重要と考える。教員間の共有と研修の継続により、教育のさらなる充実を期待する。</li> <li>・ICTリテラシーの一層の向上を望む。</li> <li>・日本のIT利用、デジタル化は世界的に下幅に触れている。先生ともども頑張りたい。</li> </ul>
ウ	主体的、能動的に学ぶ力の育成	<p>【社会に貢献できる「将来の生き方」を考える】</p> <p>「夢講座」「トークフォークダンス」など外部人材の協力を得ながら、将来と社会との関わりを考える。また「総探推進室」「地域連携室」と連携を取り、</p>	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の大人との対話を通じた「トークフォークダンス」のほか、家庭や学校では得られない学びの機会は、主体性を育む取り組みであると考えている。今後も継続的な推進と、さらに実りある機会となることを期待する。</li> </ul>

		教科横断的な学び、校外での学びを積極的に推奨する。(進路課)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みが素晴らしいと思う。もっと地域の方に、この行事等知って欲しい。</li> <li>・「トークフォークダンス」や「夢講座」の実施など、生徒の生き方・あり方を考えさせる教育実践であり評価する。</li> </ul>
		2年生文系特進クラスにおいて、特進クラスの特色となるプログラムを年3回以上実施する。(2年部)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な学びの機会として評価する。今後も、幅広い取り組みの継続を期待する。</li> <li>・地元企業の協力がありがたいと思う。</li> <li>・特色あるプログラムの実施を継続して欲しい。</li> <li>・地域の方との交流を大切にして欲しい。</li> </ul>
		理数探究の充実による自ら考え、実行できる生徒の育成。生徒の満足度5段階評価で平均4.0以上。(理数科)	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、仲間と協力し、発表する理数探究の取り組みは、生徒たちの将来につながる成長に資すると考える。今後も継続を期待する。</li> <li>・理数科の特色ある教育内容を地域に広く知らせて欲しい。</li> </ul>
		総合的な探究の時間を通して、探究の知識、技能を身につけるとともに、よりよい自己と社会を実現しようとする態度を養った生徒が8割以上。(総探推進室)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のアンケート結果が示すよう、今後の学習意識向上に期待する。</li> <li>・探究は幅広く、指導することは難しいと考える。</li> <li>・生徒の学習意欲向上につながる教育活動となることを期待する。</li> </ul>
		生徒の状況を把握し、生徒の成長を褒めるよう心がけた教員70%以上。減点法式から加点方式への転換を進めた教員50%以上。特別活動、部活動の充実を図る。(全職員)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の可能性を引き出し伸ばすことや、意欲的な学びや部活動などにつなげる指導が評価できる。今後も保護者との共有の中、継続してもらうことを期待する。</li> <li>・様々な活動を地域の新聞などで見えています。</li> <li>・生徒の意欲をより高める指導を期待する。</li> <li>・周囲から慕われるような人材教育を期待する。</li> </ul>
エ	学校の組織力を高めるとともに、教職員の資質向上の推進	学校運営や業務の在り方について、必要に応じて改善のために提案・提言しようとしている教職員が85%以上。(あり方委員会)	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制の整備は、教育の質向上につながり、生徒への良い影響が期待できると考える。</li> <li>・組織体制の整備を望む。</li> <li>・生徒の指導で何かと忙しいと思うが、全職員連携のもと運営して欲しい。</li> </ul>

様式第5号

		<p>学力向上、授業力向上のための提案を1回以上行う。それを目標とした研修会等を1回以上行う。 (教務課)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の実施は学力向上に資する取り組みと評価する。今後も継続した研修の充実を期待する。</li> <li>・学力向上のための研究を継続して欲しい。</li> </ul>
		<p>【「下高生3つの力」を身につけ、多様な進路希望に応じた進路実現を目指す】 「高校生のための学びの基礎診断」「希望模試」「講習」を実施し、確かな学力を身につける支援をする。 「下高進路ストーリー」を軸に、生徒が主体的に進路目標を立て行動をする支援をする。 (進路課)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導は概ね良好に実施されていると評価できる。基礎診断・模試、2年次に早期の共通テストへの取り組みは、重要であると考ええる。</li> <li>・進路指導に対する生徒・保護者の満足度が向上することを期待する。</li> </ul>
		<p>人権教育全体計画、年間指導計画に従い社会の多様性を理解するこころの豊かな生徒を育てる。コンプライアンス研修を踏まえ、学校内での人権に関わる諸事案の情報を共有し、全職員の人権意識が向上する。校内研修計画に沿い、特別支援教育等についての知識理解を深め、多様な生徒に対し適切な対応をとるための資質向上がなされる。(教務課)</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生徒への対応に向けた取り組みは重要と考える。多忙な業務の中での対応に感謝するとともに、今後も柔軟で適切な対応を期待する。</li> <li>・生徒とのかかわり方も多様な時代。職員の方々は頑張っていると思う。</li> <li>・教職員の意識の高揚を望む。</li> </ul>
オ	学校魅力・活性化のための開かれた学校	<p>地域連携を通じて、生徒の未見の可能性を耕し、学びに向かう力の向上を図るとともに、校外での学びを学校内での学びと有機的につなげる。年間10事業以上の実施と毎学期の共有。 (地域連携推進室)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携の推進が見える化を図る取り組みは、生徒の学びに向かう力や、可能性の向上に資するものであると考える。</li> <li>・各種の事業や賀茂4校連携事業の実施を評価する。</li> <li>・地域との連携を一層深めて欲しい。生徒に郷土愛を育んでもらいたい。</li> </ul>
		<p>ホームページや学校案内、Instagramを活用して学校の行事イベント・魅力を発信する。 (広報戦略室)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPやInstagramの活用は学校の様子や生徒の活動の見える化に有効であると考ええる。プライバシーに配慮しつつ今後も魅力の発信を期待する。</li> <li>・発信する大切さは、生徒にも良い行動だと思う。</li> <li>・学校の魅力発信をより一層進めてもらいたい。SNSを利用した情報発信は大切である。</li> <li>・HPの「卒業生の方へ」で表示されない記事があるので修正を望む。</li> </ul>

様式第5号

		<p>賀茂地区グランドデザインの具現化に向けて、拠点校配信授業の研究を進める。(年度内の進学補講、教養講座、探究学習等での遠隔授業の実践)</p> <p>(「行きたい学校づくり」推進事業)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドデザインの実現に向けた取り組みと考える。今後の推進を期待する。</li> <li>・キャンパス制に向けた研究を進めて欲しい。</li> <li>・学校間連携をより強化して欲しい。</li> </ul>
カ	学校の働き方改革の推進	<p>体育的行事、文化的行事の意義を見直し、スリム化を図る。今日の教育施策や社会環境の変化、生徒や保護者のニーズを踏まえた行事の検討を進める。</p> <p>(あり方委員会)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の見直しや授業時間の確保などの取り組みは適切であると考え、教育活動の充実に資するものであり、実施を通じた成果と課題の検証を期待する。</li> <li>・教員の多忙化が進む中で学校行事の見直しを一層進めて欲しい。</li> <li>・生徒間の交流に努めるためにも球技大会は、年2回必要かと思う。</li> </ul>
		<p>共有ファイルを用いて、各担当が業務の反省や改善点等を記録することで、業務を精選し、次年度への引継ぎが潤滑に行われる。</p> <p>(教務課)</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な引継ぎにつながる有意義な取り組みと考える。</li> <li>・デジタルのみでなくアナログ(人と人との)引継ぎも大切だと考える。</li> <li>・業務の引継ぎが円滑化することを望む。</li> </ul>
		<p>(学校全体として)組織的な運営や業務遂行ができていると回答する教職員が80%以上。</p> <p>(あり方委員会)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な運営ははかられているとアンケートから評価できる。今後は時間的余裕が持てるような体制づくりに期待する。</li> <li>・学校全体としての組織的な運営を期待する。</li> </ul>
		<p>タイムマネジメントを意識して業務を進め、年次休暇及び特別休暇を積極的に取得した教職員70%以上。研修日に定時退勤ができた教職員80%以上。</p> <p>(全職員)</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化の推進により働き方の改善が図られることを期待する。</li> <li>・教員の多忙化の中で、業務の効率化を望む。</li> <li>・全職員の定時退勤と業務の平準化は難しいと思うが、チーム下田高校として協力し合ってもらいたい。</li> </ul>
		<p>時間外勤務の縮減または業務の効率化や改善を図った教職員70%以上。</p> <p>(全職員)</p>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務の削減と業務の効率化の推進は、生徒の学びの質向上の観点から重要と考える。</li> <li>・より一層の業務の効率化を望む。</li> <li>・全ての職員が、平均的に時間外勤務を減らして欲しい。</li> </ul>

様式第 5 号

キ	信頼される 学校づくり の推進	<p>定期的（月 1 回）なコンプライアンス研修の確実な実施。 教職員の不祥事発生件数と交通事故発生件数を 0 件にする。 （管理職）</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な取り組みと考える。多様な業務を踏まえ働き方改革の視点で継続的な実施を今後もより一層期待する。</li> <li>・研修など努力されていると思う。</li> <li>・教職員の心に余裕を持てる環境づくりを期待する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善提案実践 3 件以上。</li> <li>・内部統制制度「リスク有り」業務についての発生ミス 0 件。</li> <li>・複数年の課題解消 1 件以上。 （事務室）</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営への参画と連携強化の取り組みは重要と考える。業務精選を含めた今後の充実を期待する。</li> <li>・学校運営に加わるのが大切だと感じた。</li> <li>・教職員の研修の充実を望む。</li> <li>・どこの職場でも同じであるが、1 人の職員の犯罪に対して、「あの会社は…」と悪い印象を植え付けてします。コンプライアンス研修は大切である。</li> </ul>